



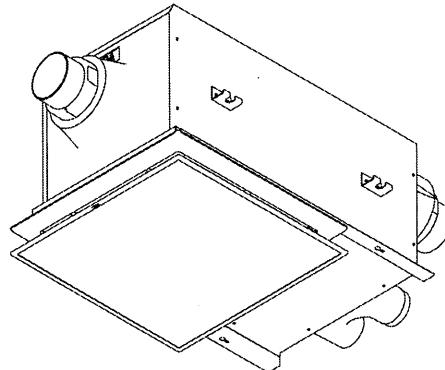
全熱交換型 スーパーエコ換気ユニット

施工説明書

工事店さま用

本体グリル天井設置タイプ
型式

SE100RD



- 本換気ユニットは住宅専用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- 本換気ユニットは24時間換気システムとしてご使用ください。
- 取付けの前に本説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、確実に施工してください。
- お使いになるお客様や、他の人に対する危害、財産への損害を未然に防止するために本説明書の内容をよく読んで、正しく施工してください。
- 本説明書は、施工業者がいつでも見る事ができるように保管してください。

■もくじ

1. 安全上のご注意	2~4
安全にご使用いただくために必ずお守りください	
2. 外形寸法と各部の名称	4
3. システム設置例	5
4. 取付け方法	
■換気ユニットの取付け	6
■天吊りボルトで吊り下げる場合	6
■野縁に固定する場合	7~8
■断熱ダクトの取付け	8
■非断熱ダクトの取付け	9
■コントローラーの結線と取付け	10
■電源の接続	11
■本体グリルの取付け	12
■屋外フードの取付け例	13
■各部屋のグリルの取付け例	14
5. 試運転と風量調整	15
6. 仕様	(裏表紙)
● 安全表示について	(裏表紙)

1. 安全上のご注意

●安全にご使用いただくために、次のことがらを必ずお守りください。

表示されている内容に反して間違った使い方をしたときに生じる危害や損害について、次の表示で区分して説明しています。



警 告

誤った使い方をすると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容が示されています。



注 意

誤った使い方をすると人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容が示されています。



この図記号は、してはいけない「禁止」内容を表します。



この図記号は、必ず行う「強制」内容を表します。



警 告



分解や改造は絶対に行わないでください。
感電、火災の原因となる恐れがあります。



浴室換気には絶対に使用しないでください。
感電、火災、漏電の原因となる恐れがあります。



本体の取付け方法は、施工説明書に示す、
水平取付け以外は行なわないでください。
感電、火災、水漏れの原因となる恐れがあります。



電源は、AC100V以外では絶対に使用
しないでください。
感電、火災の原因となる恐れがあります。



浴室など湿気の多い場所には、据付をしな
いでください。
感電、火災、漏電の原因となる恐れがあります。



電気工事の際は、必ず分電盤ブレーカー
を切ってください。
感電、けが、破損の原因となる恐れがあります。



本機の施工は、この施工説明書にしたがつ
て正しく、確実に行なってください。
工事に不備があると、感電、火災の原因になります。



本機の施工は、お買い上げの販売店または
専門の工事店に依頼してください。
工事に不備があると、感電、火災の原因になります。



据付は、本機の質量に十分耐えるところに
施工説明書にしたがって確実に行ってください。
強度不足、取付け不完全の場合、感電、火災、落下
などによりけがの恐れがあります。



アース工事を行ってください。アース線は
ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線
に接続しないでください。
感電の原因となる恐れがあります。



電気工事は、電気設備技術基準、内線規程
など関連する法令・規程にしたがつて必ず
電気工事士の資格を有する者が適切な方法
で行ってください。
無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は
火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令に
より処罰などされることがあります。



設置方向は、フィルターの取外し面が
下になるように設置してください。
感電、火災、漏電の原因となる恐れがあります。



メタルラス、ワイヤラス、または金属板張り
の木造造営物に金属製ダクトを貫通する場
合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接觸
しないように取付けてください。

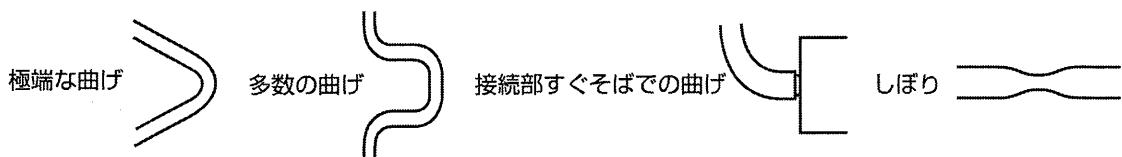
漏電した場合、感電・火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

- | | |
|---|--|
|  塩害が発生する恐れがある場所では使用できません。
腐食の発生によって騒音が発生したり、破損がおきる原因となることがあります。 |  高温となる場所や、直接炎が当たったり、油煙の多い場所には取付けないでください。
発熱、火災の原因となる恐れがあります。 |
|  ダクトには、アルミフレキシブルなど断熱性のないものを使用しないでください。
結露の発生、結露水滴下の原因となる恐れがあります。 |  本体のダクト接続部に手を入れないでください。
回転物で手をけがする原因となる恐れがあります。 |
|  下記の条件以外では使用できません。 製品本体に結露水が付着し、滴下することがあります。
外気温度：-5°C～+40°C
本体周囲温湿度：0°C～+40°C、80%RH 以下かつ、-5°C以下の外気温度条件では、露点温度9.3°C(20°C、50%RH相当)となる絶対湿度以下 | |
|  寒冷地（次世代省エネ基準Ⅰ地区）に取付けないでください。
換気ユニットから水が滴下して、家財などを濡らす原因になります。 |  外気が低温になる地域には取付けないでください。
-5°Cの外気が6時間以上継続すると、換気ユニットから水が滴下して、家財などを濡らす原因になります。 |
|  傾斜のある天井面には取付けないでください。
モーター故障や異音発生などの原因となります。 |  屋外側ダクトは断熱ダクトを使用してください。
準寒冷地においては、室内側ダクト（SA）にも断熱ダクトを使用してください。
結露により家財などを濡らす恐れがあります。 |
|  専用ブレーカーを取付けてください。据付の場所によっては漏電ブレーカーの取付けが必要です。
感電の原因となる恐れがあります。 |  電源および接続電線は指定のものを使用して確実に接続してください。
発火、発煙、火災の原因となる恐れがあります。 |
|  本体の取付け場所は、必ず断熱層、気密層の内側としてください。
断熱層の外側に設置すると、本体内部での結露の発生、感電、結露水滴下の原因となります。 |  電源ポックスカバーは操作後は必ず閉めてください。
漏電、火災などの原因となる恐れがあります。 |
|  部品などの取付けは、確実に行ってください。
落下などによりけがをする原因となる恐れがあります。 |  施工の際、本機を落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。
破損により感電、機能低下の原因となる恐れがあります。 |
|  風量調整は必ず行い、法律の規定回数以上になるように調整してください。
シックハウス症候群を起こす恐れがあります。 |  施工後、引渡し時に一度フィルターを清掃してください。
工事中にフィルターが目詰まりして、機能低下する恐れがあります。 |
|  スリーブ管取付けを行う際、必ず屋外に向って下り勾配をとってください。
勾配をとらないと、雨水が室内側に流れます。 | |

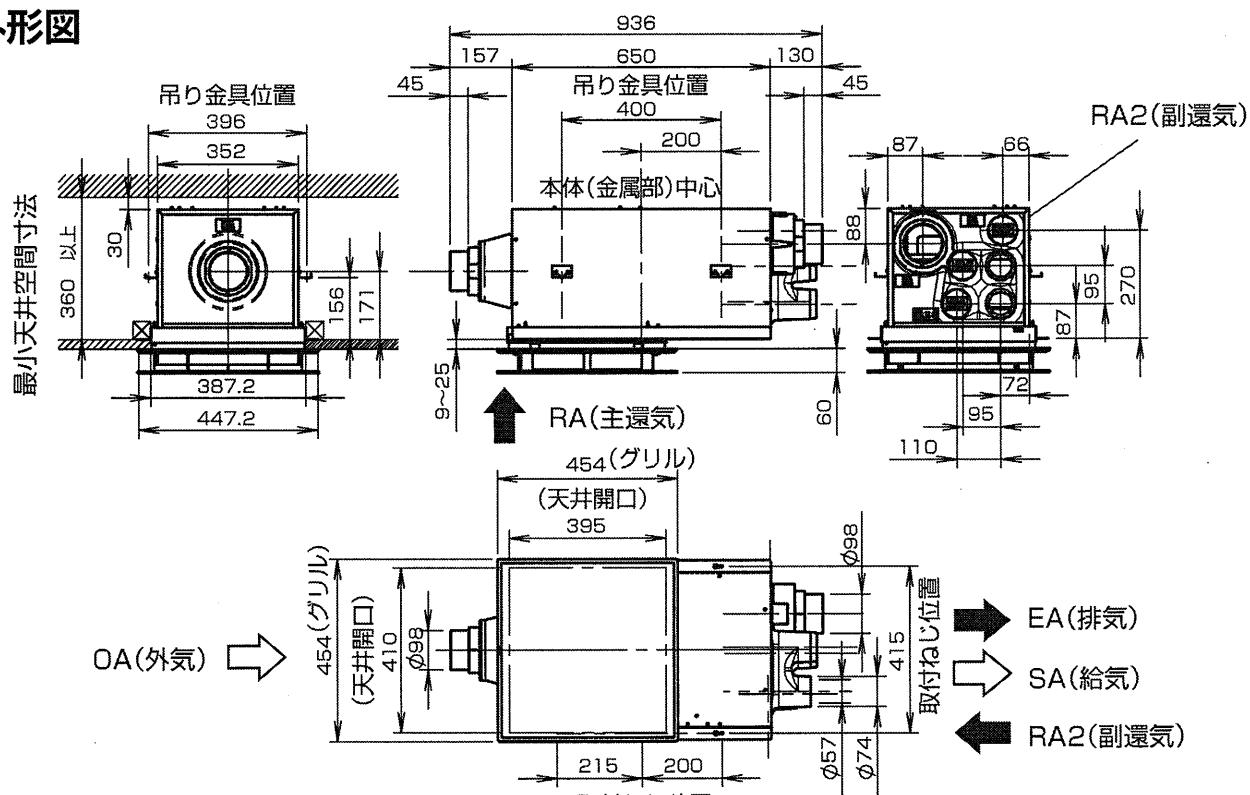
お願い

- 天井材は、共鳴しにくい材質をご使用ください。（騒音クレームの原因となる恐れがあります。）
 - 本体は、寝室の近くに設置しないでください。（騒音クレームの原因となる恐れがあります。）
 - 接続するダクトは、次のような工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因となる恐れがあります。）



2. 外形寸法と各部の名称

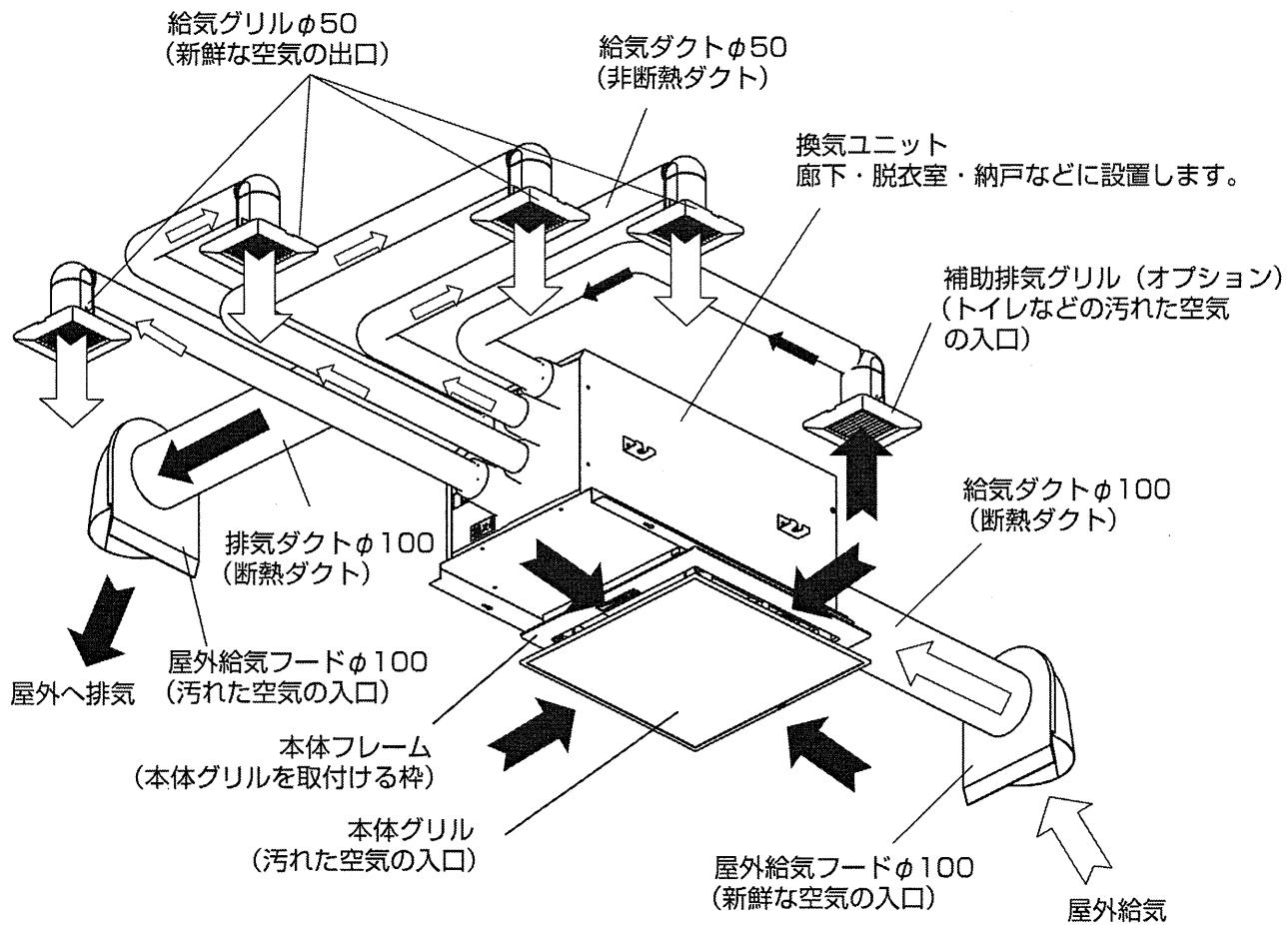
外形圖



付属部品

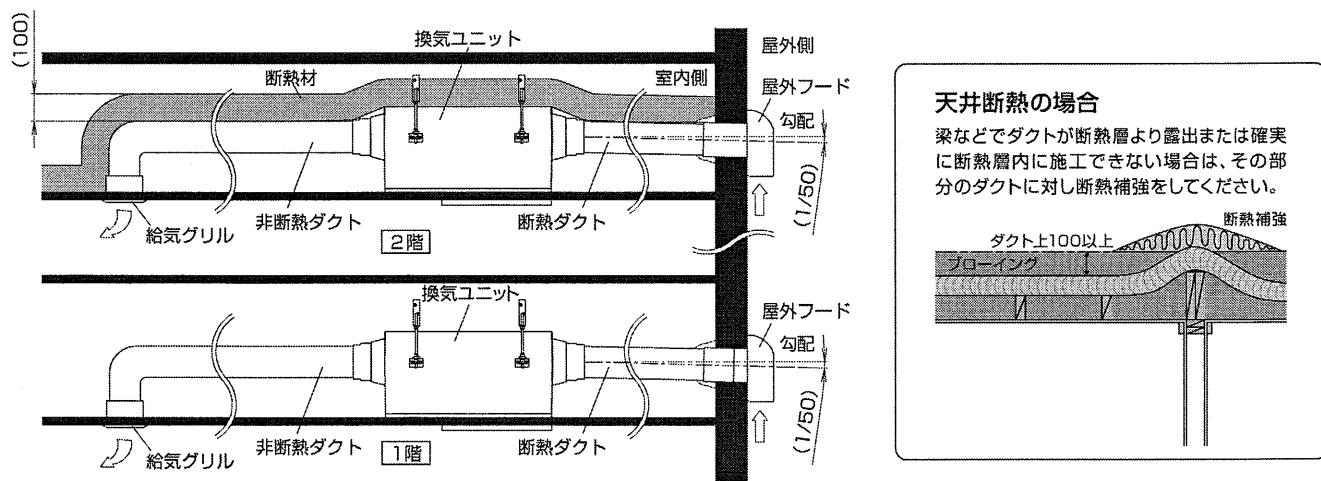
コントローラー		コントローラー中継コード10m 	風量設定位置表示シール 	L形レンチ(呼び2)
本体取付け木ねじ φ4×30 	スライド枠固定ねじ M4×30 4本 	取扱説明書 ※保証書付	施工説明書(本書) 	

3. システム設置例



断面図

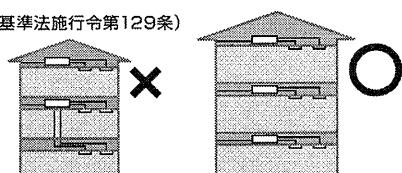
※注意：本体、資材は必ず断熱層の内側に設置します。



3階建て以上の住宅に使用するダクトは不燃材を使用しなければならない。(建築基準法施行令第129条)

- 上記の建築物でも、下記2つの用件を満たせば不燃材料でなくてもかまわないとになりました。
(→可燃性の材料でもかまわない)集合住宅の場合も同様です。(平成12年建設省告示第1412号参照)

- 用件1) 各フロア毎にダクトが完結していること。(階をまたがらない)
用件2) 延焼の恐れのある外壁に給排気口を設置する場合は、FD付屋外フードを使用します。

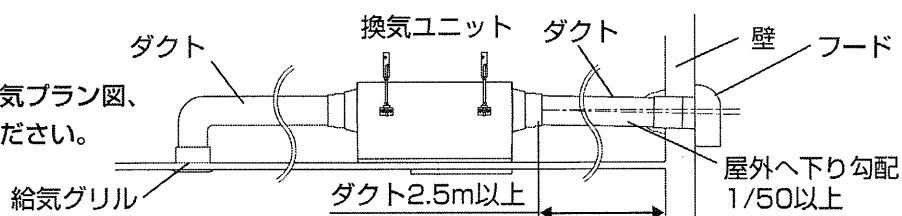


4. 取付け方法

■換気ユニットの取付け

取付け位置決め

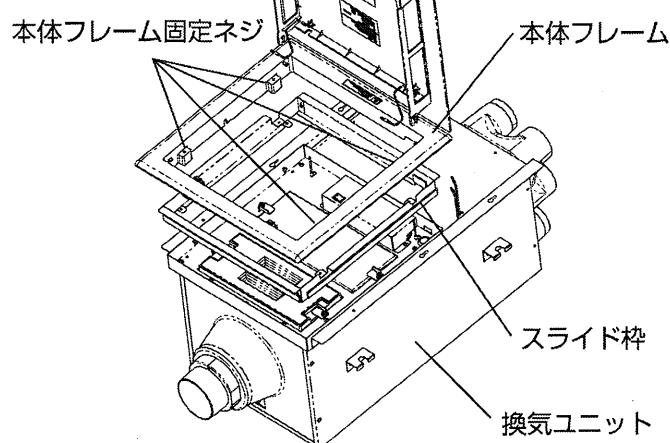
- 取付け位置・壁穴位置を換気プラン図、設計図などを元に決めてください。



■天吊りボルトで吊り下げる場合

取付け手順

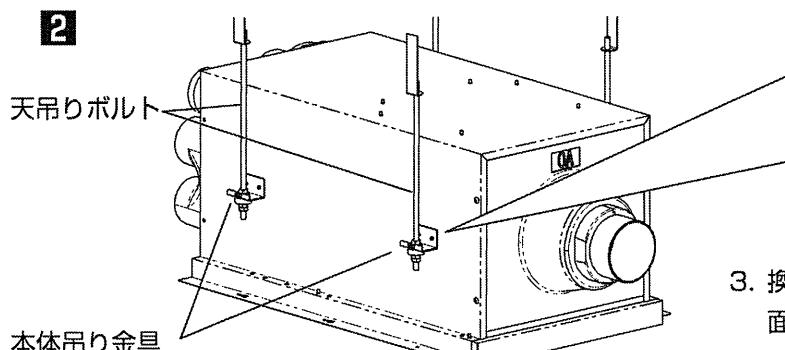
1



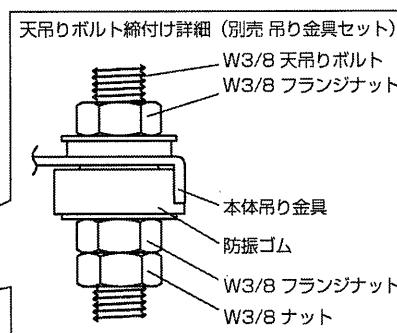
1. 施工時は、換気ユニットから本体フレームとスライド枠を取り外してください。

●本体フレーム固定ネジM4×8L(4本)を外し、本体フレーム、スライド枠と一緒に、紛失しないよう保管してください。

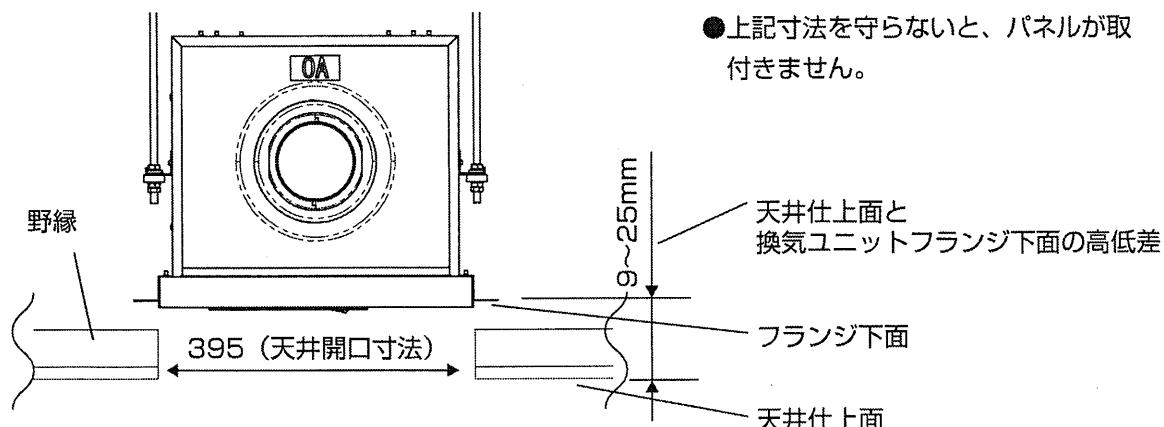
2



2. 本体吊り金具の位置に天吊りボルトを設置し、換気ユニットを天吊りボルトに取付けてください。



3



3. 換気ユニットの高さについて天井仕上面と換気ユニットの左記フランジ下面の高低差は、9~25mmとしてください。

●上記寸法を守らないと、パネルが取付きません。

■野縁に固定する場合

■取付け木枠の組立寸法

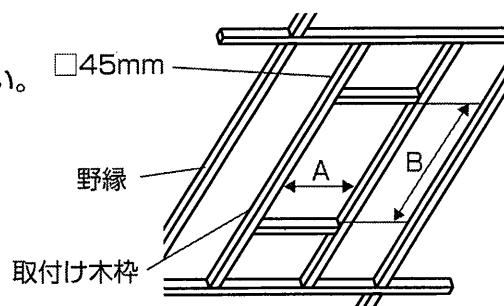
反響、振動が起こりやすい場所への設置は避けてください。

取付け木枠を作り、野縁に取付けます。

A寸法	390mm
B寸法	990mm

※内寸法

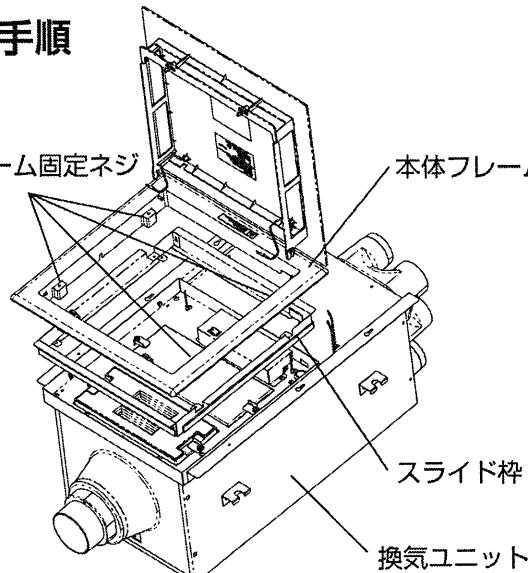
- 本体質量は約11kgです。
- 必要に応じて補強してください。



取付け手順

1

本体フレーム固定ネジ



- 施工時は、換気ユニットから本体フレームとスライド枠を取り外してください。

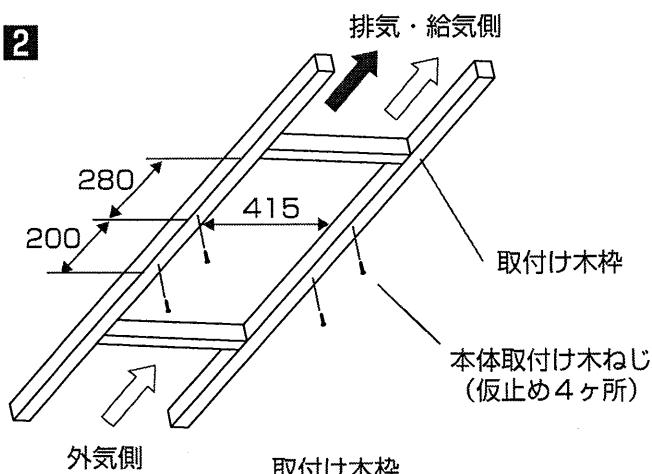
●本体フレーム固定ネジ M4×8L (4本) を外し、本体フレーム、スライド枠と一緒に、紛失しないよう保管してください。

- 本体を取付ける位置に、本体取付け木ねじ (付属品) を4ヶ所、仮止めしてください。

- 本体のねじ穴4ヶ所を通して木枠に仮止めしてください。

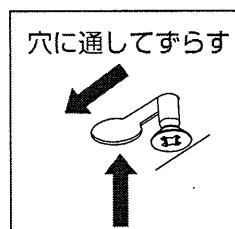
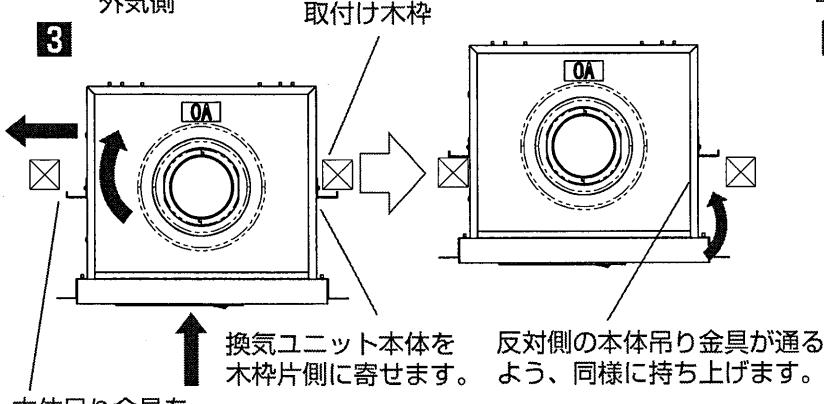
●仮止め状態で放置しないでください。
本体が落下すると、けがや本体損傷の原因となります。

2

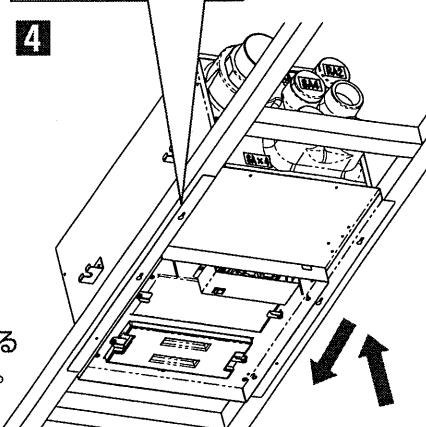


●本体を木枠内側に通すときは、本体吊り金具が木枠に引っ掛からない様に、片側ずつ通してください。

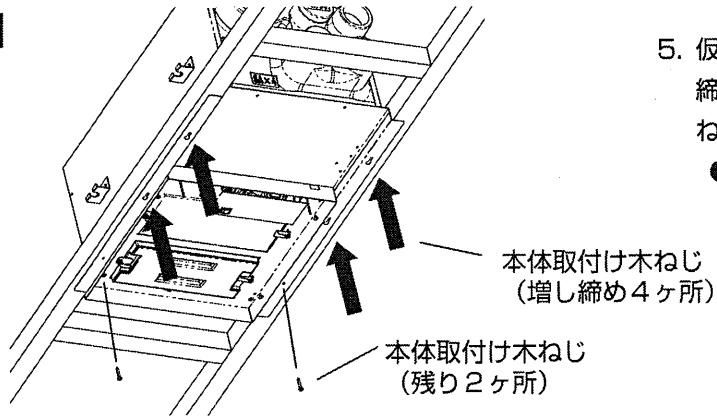
3



4



5

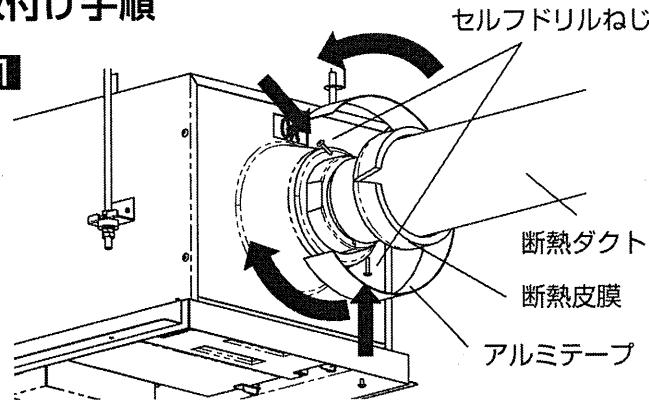


- 仮止めした本体取付木ねじ4ヶ所を増し締めして固定します。残り2ヶ所の本体ねじ穴も、本体取付木ねじで固定します。
- 本体がしっかりと固定されたか確認してください。

■断熱ダクトの取付け

取付け手順

1

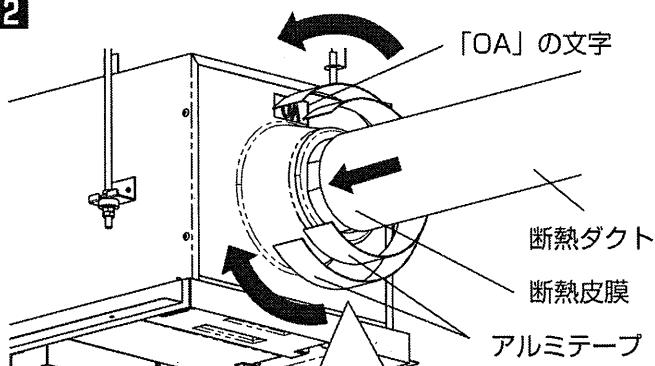


1. 断熱ダクトを適切な長さに切断し、断熱皮膜をむきます。

換気ユニットの OA・EA の本体接続口に確実に差込み、セルフドリルねじ（2～3 本市販品）で固定します。

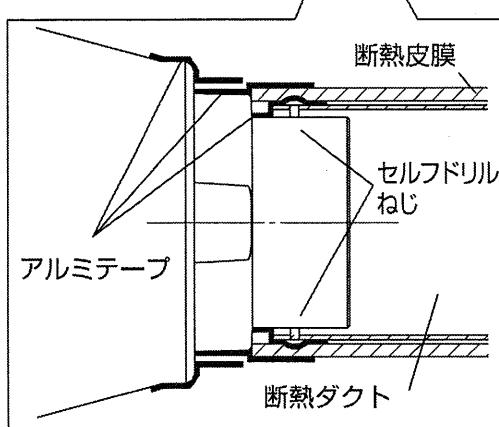
空気が漏れない様、アルミテープ（別売品）を巻きつけます。

2



2. 断熱皮膜をもとに戻し、空気が漏れない様、アルミテープ（別売品）を巻きつけます。

3. 断熱ダクトは本体に無理な力が掛からない様、天井内に番線などで固定してください。



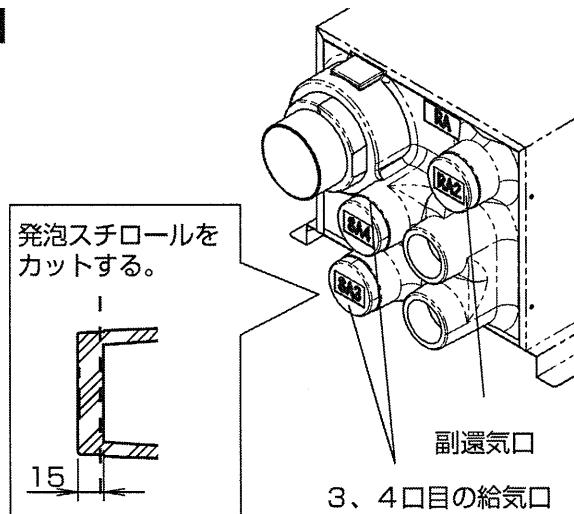
⚠ 注意

- ・ダクトの接続方向に十分注意して、間違いのないように接続してください。
- ・本体に表示してある OA（外気）、EA（排気）の文字にしたがって、正しくダクトを接続してください。

■非断熱ダクトの取付け (非断熱ダクトは、低温になるEA・OAダクトには使用できません)

接続口の開口 (3、4口目の給気口及び、副還気口を使用する場合)

1



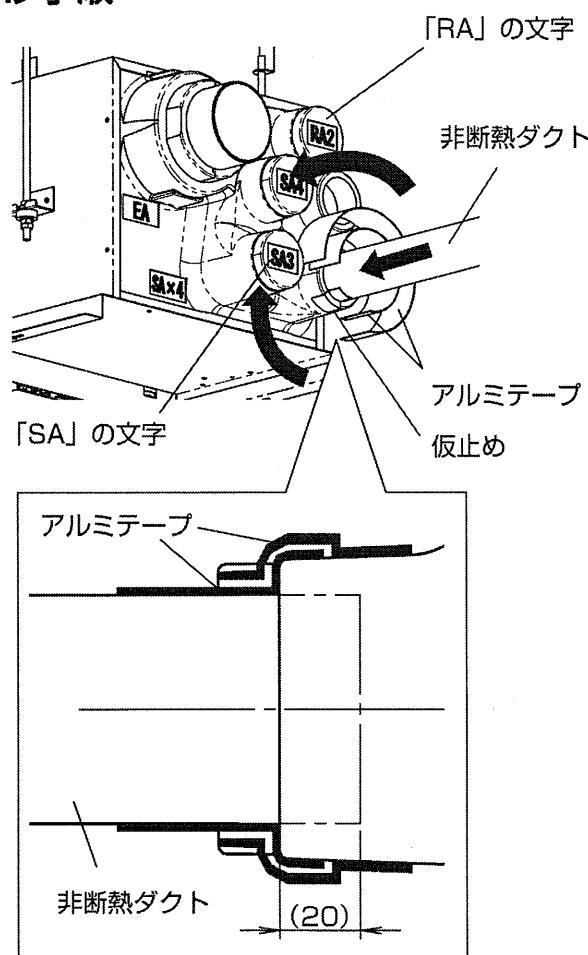
3、4口目の給気口及び、副還気口は、初期状態では発泡スチロールで密閉されています。使用する場合、以下の手順で開口してください。

1. カッターナイフなどで、発泡スチロールの先端の段差の位置で、一周カットします。

- 給気口(SA3、SA4)と副還気口(RA2)を間違えないように注意してください。
- 開口するときは、確実に一周カットしてください。カットが十分でなく無理に開口しますと、給気口破損の原因となります。

取付け手順

1
2



1. 非断熱ダクトを換気ユニット本体の SA 接続口の内側に約 20mm 差込み、アルミテープ(別売品)などで仮止めしてください。
2. 空気が漏れないよう、アルミテープ(別売品)を巻いて固定してください。
3. ダクトは本体に無理な力が掛からないよう天井内に番線などで固定してください。

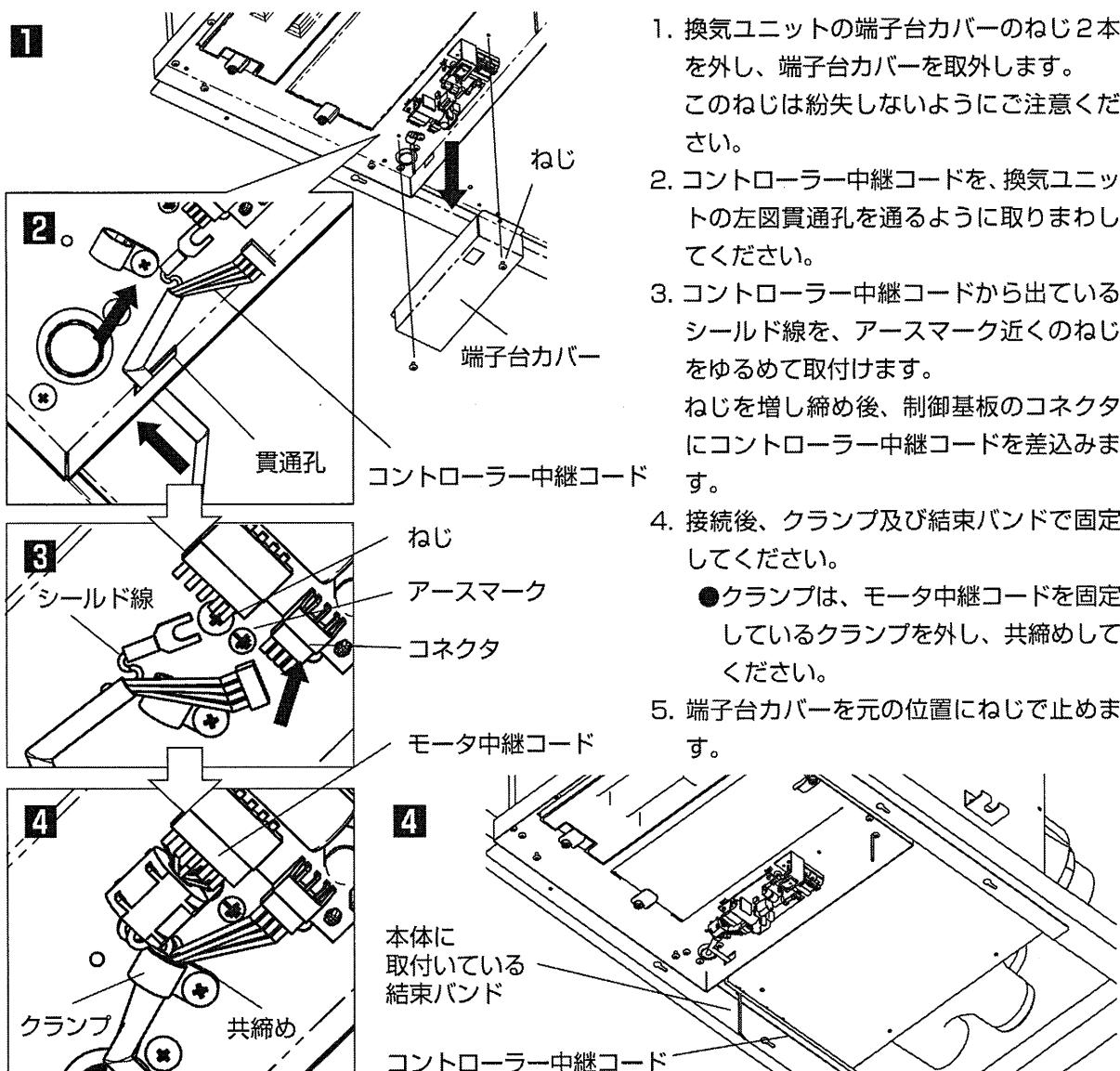
△注意

- ・ダクトの接続方向に十分注意して、間違いないように接続してください。
- ・本体に表示してある SA(給気)、RA(還気)の文字にしたがって、正しくダクトを接続してください。

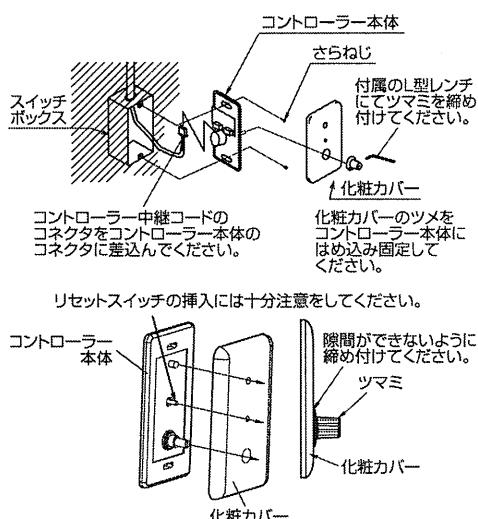
■コントローラーの結線と取付け

付属部品のコントローラーとコントローラー中継コードを接続します。

本体への結線 ●分電盤のブレーカー及びスイッチが、必ず切れていることを確認してから作業を行ってください。



リモコン取付けとリモコン用中継コードの接続



取付け場所

- 日常生活のなかで、操作しやすく、邪魔にならない場所を選び、次のようなところは避けてください。
 - ・ガスレンジ、コンロなどの熱焼器具の近くで、温度が上がるところ
 - ・水しぶきや水滴のかかるところ
 - ・直射日光の当たるところ
 - ・屋外